



広報

しょくほうう

2015

No.41

平成27年12月1日

発行 千曲坂城消防本部 長野県千曲市大字磯部1221番地 編集 総務課 代表電話026-276-0119 FAX026-276-9119



10.3・4
[想定] 県内12消防本部・航空隊・県警本部が集結
長野県総合防災訓練実施

平成27年10月3日と4日の2日間にわたり、千曲市付近を震源とする震度6強の地震が発生した想定で長野県総合防災訓練が実施されました。千曲市では、26年ぶりの開催となる大規模な県防災訓練になりました。

この訓練は、長野県消防相互応援協定及び長野県緊急消防援助隊受援計画に基づき、長野県下12消防本部、長野県、防災航空隊（長野・山梨・群馬）、自衛隊、長野県警察本部、長野県DMAT、信州ドクターヘリ、千曲市消防団など、車両延べ380台、ヘリコプター6機、人員約3000名が参加し、千曲市に発生する可能性の高い土砂災害に対応した救出訓練、上空及び地上からの被害状況把握訓練、特殊災害として異臭事案による被害対応・避難誘導訓練も実施されました。

平成27年11月1日現在		
管内世帯と人口	世帯数	人口
千曲市	22,225	60,384
坂城町	6,064	15,512
計	28,289	75,896
	世帯	人

「地域防災力の 推進に向けて」 管理者あいさつ



管理者
岡田 昭雄

この訓練は、近年、全国各地で頻発している地震や台風などの自然災害により、広範囲に甚大な被害をもたらす災害に対し、地域住民と防災関係機関とが相互に連携して素早く救助・救出活動などを展開することで、多くの住民の尊い命と身体及び財産を守り、被害を最小限に留めることを目的として実施されたものであります。

今回の訓練は、山林が多く市の中心部を千曲川が流れているといふ千曲市の地域特性を鑑み、「千曲市付近を震源とする震度6強の地震が発生、この地震により市内各地で火災が発生し一部が山林に延焼、建物崩壊及び道路陥没等が起り多数の負傷者がでている」とした「地震発生後から激しく降り続いた「大雨」で、千曲川が氾濫危険水位を

人員3000人余りが参加した大規模な訓練となりました。

全国的に地震や台風、異常気象による災害は年々増加傾向にあります。今年9月、50年に一度といわれる大雨を記録し、「大雨特別警報」が発令された台風18号は、茨城県において鬼怒川堤防の決壊、宮城県では荒井川の堤防の決壊などにより、住宅街が浸水し住民の尊い命と財産を失わせ、各地に甚大な被害をもたらしました。幸いにも千曲市では、甚大な被害を伴う自然災害は発生しておりませんが、昨今の情勢をみると、私たちの身に自然の猛威による災害が降りかかるとも知れません。

今回の訓練で実施された救出活動などは、災害現場において非常に有効であり、多くの尊い人命を

主会場に、平成27年度長野県総合防災訓練が26年ぶりに千曲市（前回は旧更埴市）で開催されました。

超え、水位はさらに上昇している。
という、まさしく大災害の発生を想定しての訓練が実施されました。
訓練内容には、消防防災ヘリコプター等により孤立観光客救出訓練や異臭事案による被害対応訓練、新たに災害多言語支援センター運営訓練なども加え、50種目を超える訓練が実施され、地域住民の皆様をはじめ長野県、自衛隊、長野県警察本部、長野県災害時派遣

消防長あいさつ

皆様方には平素から当消防組合の消防行政に対しまして格別なる、ご理解とご協力を賜わっていますことに厚く御礼を申し上げます。

消防長 望月 則男

救うことができると思いますが、災害が広範囲で、かつ、同時に発生した場合には、我々行政による緊急救援活動にも限界があります。防災対策、災害対応を考えるうえで、「自助、共助、公助」という考え方がありますが、さらに、住民一人一人が自ら行う防災活動、地域における消防団などの防災活動並びに地方公共団体、その他の公共機関が行う防災活動の適切な役割分担を図り、相互に連携協力することによって確保される「地域防災力」を充実強化することがますます重要であると思います。

さて、昨年9月27日、戦後最悪の火山災害となつた御嶽山の噴火から1年が経ちました。当消防本部は、本年、長野県知事からの要請で県市町村災害時相互応援協定に基づき、7月29日から8月7日までの10日間に渡る再捜索活動で、3名の職員を派遣いたしました。6名の方が行方不明となつていましたが、31日の捜索で行方不明者1名を発見し、この災害で58人目の犠牲者が確認されました。現場は、厚く積もつた火山灰が固まり、巨大な噴石が点在するなどで、捜索活動は難航し、残りの5人の発見には至らないまま、残念であり

りも雨雲がさらに発達した状態にあつたとのことがあります。幸いにも、管内で被害は有りませんでしたが、当地域でも同様の災害が何時発生するのか分からぬ状況でありますので、日頃から災害に対する十分な心構えを持ち減災に繋げたいと考えております。

また、昨年10月より運用を開始しました「位置情報通知システム」でありますが、このシステムは19番通報を受信した際に、通報者の位置情報等が通信指令台の電子地図上に自動的に表示されるもので、より早く正確に災害現場へ出動することが可能となりまし



消防長
望月 則男

消防長あいさつ

たり氾濫 翌日11日には 宮城県
大崎市渋井川の堤防が決壊。この
ほか各地で甚大な被害が発生しま
した。記録的な大雨となつたのは、
関東地方の上空に南北に延びた
「線状降水帯」と呼ばれる雨雲の
連なりが直接の要因とされていま
す。専門家によりますと、昨年の
8月、広島で土砂災害を起こした
大雨も、この線状降水帯が原因と
されます。が、今回の豪雨はこれよ

終わりに、現在、戸倉上山田消防署の庁舎改築工事中のため、ご不便をお掛けしておりますが、地域住民の皆様が安全で安心して暮らすことのできる平穏無事な地域を目指していきたいと考えておりますのでご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げ挨拶といたします。





消防組合議会議員・監査委員									
監査委員	代表監査委員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	副議長	議長
荻原光太郎	柳沢	朝倉	倉島	大袖山	中村	林	荻原光太郎	小山	嘉一
(議会選出)	(坂城町)	(坂城町)	(千曲市)	(千曲市)	(千曲市)	(千曲市)	(坂城町)	(千曲市)	(千曲市)
中澤	守	国勝	清香	洋子	廣雄	了治	重道	和田	大森
坂城町	坂城町	千曲市	千曲市	千曲市	千曲市	千曲市	千曲市	茂彦	嘉一

新たな消防組合議員
副議長に 大森 茂彦 氏
が再就任される

坂城町組合議会議員構成が変わり7月17日、消防組合議会臨時会において副議長に大森茂彦が再就任されました。消防組合議会議員及び監査委員は左記の方々です。

人事行政の運営等

「千曲坂城消防組合人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」に基づく概略です。
詳細は千曲坂城消防本部のホームページで公表しています。

平成27年4月1日現在

年齢	18~25	26~30	31~35	36~40	41~45	46~50	51~55	56~60	計
人数	22	14	15	15	11	7	6	7	97

2 給与等の状況

(1) 人件費の状況

平成26年度

管内人口 24.4.1	歳出額	実質収支	人件費	人件費率
77,111人	9億5,895万4,178円	1,640万2,550円	6億7,917万4,519円	70.8(%)

(2) 給与費の状況

平成26年度

職員数	給 与 費				1人あたりの給与費
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	計	
95人	3億1,188万6,798円	7,923万8,722円	1億1,420万5,228円	5億533万748円	531万円9,271円

(3) 平均給料月額・平均給与月額・平均年齢の状況

平成26年4月

職員数	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
95人	27万2,004円	33万3,323円	35.7歳

(4) 初任給の状況

平成27年4月1日現在

学歴	一般行政職	国の制度
		一般行政職
高校卒	14万2,100円	14万2,100円
大学卒	16万3,600円	16万3,600円

(5) 級別職員数の状況

平成27年4月1日現在

級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	計
職	主事補・主事	主任主事	主任・主査	主査・係長	主幹・課長・署長等	次長等	消防長等	
階級	消防士・副士長	副士長・士長	士長・司令補	司令補・司令	司令・司令長	司令長	消防監等	
人	26	15	32	9	9	5	1	97
構成比	26.8%	15.5%	33.0%	9.3%	9.3%	5.2%	1.0%	100%

(6) 期末手当・勤勉手当

平成26年度

区分	消防組合		国	
	期末手当	勤勉手当	期末手当	勤勉手当
6月期	1.225月分	0.675月分	1.225月分	0.675月分
12月期	1.375月分	0.825月分	1.375月分	0.825月分
合計	2.6月分	1.5月分	2.6月分	1.5月分

(7) 退職に係わる手当

平成27年4月1日現在

区分	勤続20年(月分)	勤続25年(月分)	勤続35年(月分)	最高限度額(月分)
消防組合	25.55625	34.5825	49.59	49.59
国	25.55625	34.5825	49.59	49.59
加算措置	定年前早期退職特例措置	2~20%		

(8) その他の手当

平成27年4月1日現在

区分	内 容 (支給対象職員数・支給額)		
扶養手当	①配偶者13,000円	②①以外の扶養親族6,500円	③①なしの扶養親族の1人は11,000円
住居手当	賃貸等により(22人)	支給なし~最高27,000円	
通勤手当	距離、通勤方法等により(91人)	支給なし~最高10,000円	
管理職手当	主幹 35,600円~消防長	61,900円(15人)	
危険手当	給料の5%(当直者75人)	·3%(日勤者7人)	·2%(管理職15人)
救助手当	月額1,500円(隊員30人)		
救命士手当	月額2,000円(救命士23人)	·特定行為	1回510円

**県町村監査委員
自治功労者表彰
中澤 守さんが受賞**

千曲坂城消防組合の中澤守代表監査委員が、長野県町村監査委員

平成21年2月から6年間にわたり千曲坂城消防組合における監査の円滑適正な執行と、地方自治の振興発展に貢献された功績によるものです。



**平成27年部外者表彰
清水房子さん
半田涼真さんが受賞**

た。このことは住民の模範となるものです。



11月の部外者表彰
清水さん(右)、半田さん(左)

消防本部庁舎建設準備室からのお知らせ

消防本部兼戸倉上山田消防署庁舎の改築整備については、平成27・28年度に改築整備を進めいく予定です。

また、改築整備事業内容については、昭和45年に建築した部分(610m²)の取り壊しを行い、平成8年度に増築整備した部分(通信指令棟、新車庫棟)に増分(610m²)を取り壊しを行います。

中澤守代表監査委員は、現在も継続してご活躍中であり、今後とも当組合の監査をお願いする

ものであります。



庁舎解体状況

救助技術大会

**ほふく救出 全国準優勝
ロープ応用登はん 入賞**

6月22日、長野県消防救助技術大会が開催され、当本部は、

ほふく救出の部、ロープ応用登はんの部で2年連続で優勝し、

全国大会への出場切符を手にしました。

8月29日には、兵庫県神戸市で全国消防救助技術大会が開催され、ロープ応用登はんの部で入賞。ほふく救出の部では、

出場チーム51チーム中、34秒5(標準タイム70秒)のタイムで準優勝を果たしました。

**平成21年の
全国大会以来の
好成績となりました**

★ほふく救出とは?

全国準優勝



(向って左から)佐藤隊員 横沢隊員
若林隊員



朝日隊員(左) 島田隊員(右)

★ロープ応用登はんとは?

登はん者と補助者が2人1組で協力し、器材を使わずに塔上から垂下されたロープを15メートル登はんする訓練です。

救助大会の中でもつとも訓練時間が短い種目になっています。(標準タイム16秒)

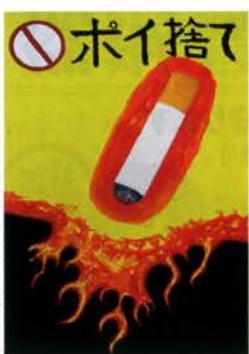
第36回 防火ポスター展開催

例年実施されている防火ポスター展は、小・中学校児童生徒の防火意識の高揚と火災予防思想の普及を図ることを目的に実施しており、今年度は戸倉上山田・坂城地区を中心に各小・中学校から力作205点が出品されました。

作品の審査には担当する小学校の先生と消防長があたり、審査の結果、金賞6点、銀賞8点、銅賞15点が選ばれました。

入賞作品の29点は、各種行事の際に掲出する等、火災予防の一翼を担うことになります。

なお、本年度金賞作品の中から、治田小学校6年生の小山天音さんの作品が最優秀賞として、消防本部が発行する来年の防火カレンダーに選ばれました。そして、優秀賞に選ばれた五加小学校4年生の和田京羽さんと、五加小学校4年生の齊間逸希さんの作品が、埴科消防協会が各戸に配布する今年度の防火チラシの図案に採用されました。



最優秀賞

→ 小山天音さんの作品

審査風景



坂城消防署会議室にて

優秀賞



齊間逸希さんの作品

優秀賞



和田京羽さんの作品

○金賞入賞者は次の方々です。

治田小学校6年	小山 天音さん
五加小学校4年	和田 京羽さん
五加小学校4年	齊間 逸希さん
南条小学校5年	内山 瑛誠さん
屋代小学校5年	深町みのりさん
坂城小学校6年	金子 世菜さん

「夏休み親子消防体験教室」を題して、坂城町内の小学生を対象とした、親子参加型のイベントを開催しました。

坂城署 夏休み親子消防体験教室

また、火災の際には消火器を使つて初期消火をする方法など、児童にも模擬消火器を使い体験してもらいました。



ねずこんもやってきました!

この催しは、幼少期に消防署で実際の放水体験、救命講習を学んでもらい、防災や救命等のいざとい時の関心を高めてもらおうという目的で毎年開催しています。このイベントは平成23年から実施していて、今回で5回目となり、今年は親子合わせて37名の方にご参加いただきました。

身近な人が倒れた場合、いざといときに役立つ心肺蘇生法を実際に学んで頂きました。



子供たちには大変良い経験となつたのではないか。催しの終了後には保護者の方々からも好評をいただき、大盛況に終わりました。

今後も小さい頃からの防災教育の機会を設けて、このようなイベントを企画したいと思っています。



模擬出動訓練



放水訓練

つけましたか？ 住宅用火災警報器

「住宅用火災警報器は、火災の発生を早期に知らせ、あなたや家族の命を守ります。」

消防法の改正により、住宅への「住宅用火災警報器」の設置が義務付けられています。

住宅火災の実態

建物火災での死者の88.4%は、住宅火災によるものです。

原因は逃げ遅れによるものが半数を占めています。火災から命を守るために、適切な箇所へ設置しましょう。



既に設置されている方は

「いざ」というときに、住宅用火災警報器が働くように、半年に1回は清掃し、作動点検を行いましょう。

また、住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで火災を感知しなくなることがあるため、10年を目安に交換しましょう。

千曲坂城消防本部管内の住宅用火災警報器設置率は81%です。(条例どおりに設置されているものは78%) H27.6.1時点

一人暮らし高齢者家庭の 防火指導を実施 ～12月初旬から～

暖房機器など火気の取り扱いが頻繁になり、火災が多く発生しやすい季節を迎えるに当たり、住宅火災から高齢者の死傷事故防止を図ることを目的とする「一人暮らし高齢者家庭の防火指導」を、各地区民生児童委員の皆様と、消防団の方々にご協力をいただき、本年も12月初旬から翌年の1月末日にかけ実施いたします。なお、訪問の際は、訪問家庭に民生児童委員様から事前連絡をお伺いいたしますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

「秋季全国火災予防運動」の一環として、11月9日に屋代駅、戸倉駅、坂城駅で火災予防広報と住宅用火災警報器の設置推進PRを実施しました。千曲市キャラクター「あん姐」と坂城町キャラクター「ねずこん」、屋代駅前通り商店街のイメージキャラクター『ヤシロウ』が広報活動に参加しました。



「秋の火災予防運動」 「住宅防火対策啓発広報を実施」

「秋季全国火災予防運動」の一環として、近親者によるバーベキュー、幼稚園などで父母等が主催するもちつき大会のように相互に面識があるものが参加する催しなどは対象外としています。

なお、開設届出書の提出により、火災予防の徹底をお願いすること

ただし、近親者によるバーベキュー、幼稚園などで父母等が主催するもちつき大会のように相互に面識があるものが参加する催しなどは対象外としています。

「露店等の開設届出書」の提出を義務付けています。

『消火器の準備と届出』義務化

平成25年8月15日に京都府福知山市の花火大会会場で発生した火

災を踏まえ、千曲坂城消防本部では、火災予防条例の改正を行い、屋外で祭礼、縁日、花火大会、展示会その他多数の者の集合する催しで火気を使用する場合、その主催者や火気を使用する露店などの関係者の皆さんに対しても、消火器の準備や所轄の消防署にあらかじめ「露店等の開設届出書」の提出を義務付けています。



を目的的に、所轄の消防署で事前指導や現地指導をさせて頂く場合がありますので、よろしくお願ひいたします。

流出事故発見時、または発見した場合は、市役所・町役場・消防署へ連絡してください。

冬期間は灯油などの油流出事故が多く発生します。その原因のほとんどは、ホームタンクのバルブの閉め忘れや配管の破損、腐食などです。日頃から施設の点検や管理を徹底し、事故の防止に努めましょう。

油流出事故は、河川や水路、地下

水等に重大な環境汚染を引き起こし、水道や農業用水が取水できなくなり、井戸水が飲めなくなるなどの生活や動植物に多大な影響を与えるおそれがあります。

ご注意を！ 灯油の流出に



広報 しょうばう

もしもの時の 心肺蘇生法

**あなたの勇気が
救命リレーの
スタートです！**

「他の誰かがやつてくれるだろう
…」

「もし、あなたの目の前で突然人が
倒れたら、皆さんはどうしますか？」
この質問に皆さんは直ぐに答え
られますか？

「直ぐに手当を…」

「だけど何をすれば…？」

「不安でいっぱい…」

これは、救命講習での一コマです。
「救急車を呼べば…」と考えてい
る方も多いのではないでしようか？

救急車が到着するまでに

一方、救急車が止まると15秒以内に
意識が無くなり、3~4分以上そ
のままの状態が続くと、回復が困
難となります。

脳は心臓が止まると15秒以内に
国平均で約8分かかります。
このことから、救急車が到着す
るまでに、皆さんが何もしなけれ
ば、命が助かる可能性は時間とと
ても減少し、社会復帰も困難な状
況に陥ってしまいます。

しかし、その場に居合わせた皆
さんが、何らかの救命処置を行う
ことで、その減り方がゆっくりと
なり、救命効果が2倍になるこ
とが分かっています。

また、海外のデータでは、救命
処置を行うことで30日後の生存率
は約2.5倍になるとの報告もありま
す。

もしもの時の 心肺蘇生法

**あなたの勇気が
救命リレーの
スタートです！**

「他の誰かがやつてくれるだろう
…」

「そんなことを考えているうちに、
目の前で倒れた人の状態は急激に
悪化していきます。
「それでいいのだろうか…？」

もし、そんなことを思うのなら、
迷うことはありません。

皆さんの勇気ある一步が救命への
大きな一步となります。

是非この機会に、心肺蘇生法を学
び、私達とともに救命リレーをス
タートさせましょう！

普通救命講習会の 開催について

千曲坂城消防本部では今年度、
普通救命講習会を左記の日程で開
催します。

◆平成28年2月10日(水)
8時30分から12時30分

◆平成28年3月5日(土)
8時30分から12時30分

【場所】坂城消防署
※定員20名

※講習内容により時間が異なり
ます。

詳しくは各消防署又は千曲坂城
消防本部ホームページをご覧くだ
さい。

統合型位置情報システム 運用中です！

昨年より、千曲坂城消防本部
では【統合型位置情報システム】
が運用されています。

これは119番通報の際に、
通報者の発信位置情報が消防
本部通信指令室の電子地図上
に自動で通知されるシステムで
す。

取得された発信位置情報を、
通報内容と一緒にすることで、より
正確な通報者の位置情報が消
防本部で把握でき、特に屋外か
らの携帯電話での通報や、通報
者の具合が悪く話すことが出来
ない時など、通報者が場所を正
確に伝えられない状況で効果を
発揮しています。

次に、119番通報の仕方を紹
介しますので、参考にしてください。
通報する電話の機種や電波の状
況により、システムによる位置情報
の確認が十分に出来ないことがあります。
通報の際は、通信指令員か
ら口頭で住所や目標物の確認を致
しますのでよろしくお願ひいたします。

○119番通報時の お願い

スマートフォンの 緊急通報機能について

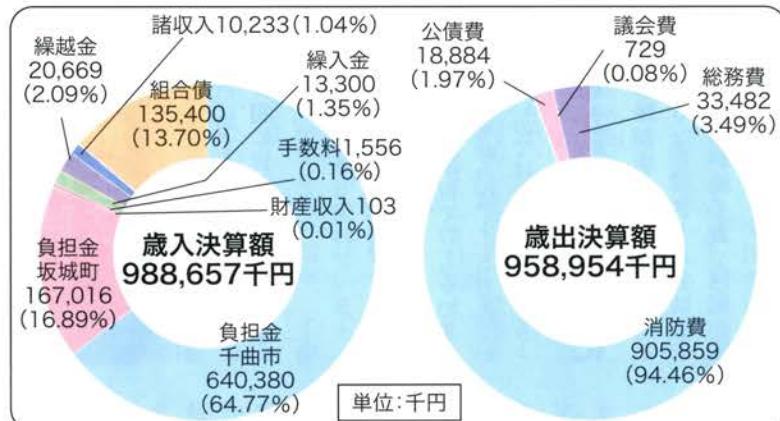
○緊急通報機能とは？

スマートフォンは、パスワード
等を入力しなければ端末を操作
できません。緊急通報をするための
機能です。

これはロック中であってもセ
キュリティを解除することなく
緊急通報をするための機能です。
しかし、知らないうちに緊急
通報機能を使用し、誤って11
9番通報などをしましまう可能
性があり、最近この誤操作によ
る通報が増えています。

原因として多いものは、ポケッ
トの中で知らないうちに指が触
れて通報していた、お子様が誤つ
て操作してしまったなどです。
これを防ぐには、誤操作防止
のためのアップデートをする、通
報の発信前に再確認をするアプ
リケーションをダウンロードする
などの方法があります。

詳しくは各携帯電話会社へお
問い合わせ下さい。
もし間違って電話をかけてし
まつたら、ひと言「間違いです」と
お伝え下さい。
ご協力よろしくお願ひいたし



- ◎消防費:職員の給与、車両をはじめ、消防救急等の資機材などです。
- ◎公債費:施設や設備、車両の整備等の借入金の返済金です。
- ◎総務費:庁舎関係、事務関係用品、電話、通信費、光熱水費等です。
- ◎議会費:消防組合議会のための費用です。※円グラフの単位は千円

「平成26年度 決算が認定される」

平成27年第2回消防組合議会定例会が10月13日に開催され、平成26年度の一般会計歳入歳出決算が認定されました。決算の概要は、歳入総額は9億8865万7千円、歳出総額9億5895万4千円で、2970万3千円の黒字決算になりました。

平成26年度は、住民の信頼と期待に応えられるよう、災害に強いまちづくりを目標に諸事業を進めてまいりました。

なお、決算の認定に当たっては、収支等いずれも適正に執行されている旨、監査委員から報告がありました。

新入職員の紹介

今年4月1日、当本部消防吏員の拝命を受けた3名です。4月から長野県消防学校において半年間の初任科課程を修了し、現在、消防士として更埴消防署に勤務しています。今後は、救急隊員としての資格取得課程修了後、消防活動の最前線で活躍します。よろしくお願いします。



消防士(更埴署所属)

【抱負】消防職員としての自覚と責任のある行動をとり、住民の方々に信頼される隊員になるために日々努力します。

編集後記

本年を振り返りますと、様々な角度から私たちの生活が少しづつ変化していることを改めて感じました。大きなものでは安保法の可決、TPP大筋合意、マイナンバー制度等、我々の生活に直接影響があるもの、また間接的に影響を及ぼすもの等、いずれは変化を余儀なくされていく大切な事柄が挙げられます。また、関東東北豪雨・御嶽山噴火後の再捜索など、自然の力により日常を急変させられた出来事も忘れられません。それらを教訓とし、より良い形へ変化を続けていくことはいつでも私たちの課題なのでしょう。

さて、今回の広報をご覧になつて頂いてお気づきかと思いますが、我々千曲坂城消防も変化を続けております。特に本年は庁舎建替、デジタル無線の導入など、円滑な消防活動のため、ひいては住民の皆様の利益へ繋げるための大きな転換をしております。後に皆様に「以前に比べて良くなつた」と感じて頂けるように、心掛けていく次第です。

現在の子供達が成長していく中で「今はいい時代だ」と思えるような変化をしていく社会――その一端を担う「大人であります」また「親として」、「消防職員として」そのように感じております。

平成26年中

火災・救急出動件数



火災出動件数
55件

救急出動件数
3,654件

救助出動件数
48件

※救急車の適正利用にご協力ください!!

電話番号のお知らせ

○代表電話 (026) 276-0119

○F A X (026) 276-9119

○消防本部

総務課 (026) 275-2122

予防課 (026) 276-5875

警防課 (026) 275-2543

○戸倉上山田消防署 (026) 275-0599

FAX (026) 276-9119

○更埴消防署 (026) 274-0119

FAX (026) 273-1119

○坂城消防署 (0268) 82-0119

FAX (0268) 82-1119